

狭山の元気 発見



だれもが安心して生活できる社会を目指し 地域住民からも信頼される 身近なよき相談者として日々活動しています

民生委員は、昭和23年に制定された民生委員法に基づき、厚生労働大臣から委嘱を受けて活動しています。同

時に、児童福祉法による「児童委員」を兼務することになっていて、正式には「民生委員・児童委員」と呼ばれています。現在、狭山市には243名の民生委員・児童委員(内22名は主任児童委員)が市内の各地区において、子ども、高齢者、障害者の皆さんなどに対して、さまざまな相談や援護、助言など、地域社会の福祉向上のために、日々、熱心な取り組みを行っています。

なく、自ら進んで住民の状況を把握する必要があるといえます。民生委員・児童委員の仕事は多岐にわたり、地域と深く関わっています。市などの行政機関と住民との橋渡し役や登下校時の児童・生徒の見守り、無職・就業証明など生活状況に係る調査書の作成、一人暮らし高齢者世帯への生活支援など、子どもから高齢者まで、すべての人に幅広く関係しています。



協議会役員の方(左から加藤副会長、奥富会長、栗原副会長)

狭山市民生委員・児童委員協議会



登下校時には児童の見守りと声かけを行い、安全、安心の地域づくりに貢献しています



「こんにちは赤ちゃん事業」でご家庭を訪問。お母さんとも顔なじみ



高齢者のお宅を訪問し、親身になって相談に応じています

「私たちに一番重要なことは、住民の皆さんに身近に感じてもらう、信頼されることです。そのためには、地域で行う行事などにも積極的に参加して、まずは皆さんと親しく顔見知りになるようにしていきます」と話すのは、狭山市民生委員・児童委員協議会会長の奥富孝一さん。

生活や価値観の多様化とともに、地域社会のあり方も大きく変わりつつある昨今、相談や支援の要請を待つのでは

さらに、4か月乳児の健診票や関係書類を直接、世帯にお届けし、地域の皆さんの子育て状況を把握する保健センターの「こんにちは赤ちゃん事業」にも協力しています」と奥富さん。昨年からは「この事業は、地域コミュニケーションの積極的な取り組みモデルとして注目されています。」「最近では核家族化や少子高齢化が進み、身近な相談相手

がないという方が増えていきます。私たちは、地域の皆さんと日常生活をとおして交流を深め、信頼される相談相手になるように努力しています。もちろん私たちには情報の守秘義務がありますから、どこに相談すればいいのか分からず困ったときは、どうかお気軽に声をかけてください」と話す協議会役員の方。

民生委員・児童委員は、だれもが安心して暮らせる地域を目指して、私たちの身近なところで活動を続けています。

市民みなさんの声

オピニオン

七夕まつり会場をきれいに保ちたい



橋本 ともこさん
(富士見在住)

入間川七夕まつりのクリーンボランティアに参加して6年、年々会場にポイ捨てされるごみの量が減ってきていることを感じています。

以前は、食べ終わった容器などが道端に捨てられていることが多く、とても見苦しかったです。しかし、ここ数年は、ごみの分別の意識が浸透してきたのか、道端のごみも減り、ごみ置き場の清掃をしても、分別して出されていることが多くなりました。ただ、残念に思うのは、以前には無かった、紙おむつが無造作に捨てられていることがあることです。おむつ交換ば「赤ちゃんのお休み処」が設置されているのでそちらを利用してくれればいいのですが...

今年も七夕まつりの時期がやって来ます。歴史と伝統にはぐくまれた歴史あるお祭りですので、少しでも会場をきれいに保てるよう、これからも頑張っけてボランティアを続けていきたいと思ひます。

市の考え方

貴重なご意見ありがとうございます。また、毎年七夕まつりクリーンボランティアにご参加ありがとうございます。

七夕まつりで発生するごみは、来場者のマナーの向上やクリーンボランティアのご協力により、以前に比べ分別が進み、昨年からは、かき氷容器などのプラスチック類を新たに分別し、リサイクルに努めています。

入間川七夕まつり実行委員会では、今年も多くの方にクリーンボランティアにご参加いただき、「ごみのないきれいな入間川七夕まつり」を目指し努力していきますので、皆様のご協力をお願いします。

担当 商工業振興課

皆さんの「声」をお待ちしています。お寄せいただく際は、住所、氏名、電話番号をご記入ください。☎2954 6262(代)
✉koho@city.sayama.saitama.jp

私たちは、無理をせず、楽しく、自分のペースで「をモットー」に活動しています。興味を持たれた方は、ぜひ一度見学にいらしてください。
問合せ 但木みづ江さんへ
2957 5498

私の宝物 ...

小さな命の育みが私の元氣です

私が猫を飼ひ始めたのは8年前です。きっかけは、家に迷い込んで来た猫を世話したことで、今では子どももできて、大所帯になりました。生まれつき足に障害のある猫もいて、健やかに成長できるか心配ですが、懸命に生きようと頑張っています。ほかにも個性豊かな猫がいて、この子たちを見ていると、私も頑張らないといけなひと思ひます。



くわた 末さん
(入間川在住)

猫の寿命は短いですが、生きることの大切さを教えてくれます。



さまざまな表現を見せる猫たち

いつも一緒にいると心がいやされる、私の一番の宝物です。

次回は、狭山台にお住まいの方をご紹介します。

Hello ハロー仲間たち

Vol.323



緑豊かな自然の中での体操は気持ちいいです

私たちは、中国体操をとおして、健康促進と病気の予防を目的に活動しています。

今年の6月で2年と、まだ日は浅いですが、現在では下は46歳、上は80歳を超える76名の仲間が、富士見公民館脇の狭山ふれあいの森に、平日の天気の良い日に来られる仲間が集まり、元気に体を動かしています。一言で中国体操といってもいろいろあります。私たちが取り入れているのは「練功十八法」といい、呼吸法が基本の体操です。準備体操で少しずつ体を暖めほぐしていき、その後美しいエキゾチックな音楽に合わせて、本格的な中国体操に入ります。見た目はゆったりとした動きですが、実際に体験してみると、ふだん使わなひ筋肉を動かすので初めは疲れますが、日々続けるうちに体が軽くなり、自然と体力が付いてくることを感じられるようになります。

ふれあいの森健康体操